

自動復旧型 ネットワーク保守システム

リブーターを利用した死活監視と
自動復旧システム

明京電機株式会社

障害復旧を短時間で行なう

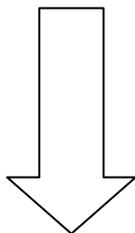
経済的な損失であるシステムの停止時間を最小限に押さえるため、**障害発生から、システム復旧までの時間**を短縮することが必要です。

- 保守員、現地到着までの時間
- 対象の障害機器を探す時間
- 機器の状態把握の時間
- 復旧処置を行なう時間

リブーターの利用で自動復旧

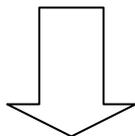
障害発生

サービス員派遣



数時間

現地到着 調査



数十分

電源リブート

システム復旧

異常検出

自動リブート

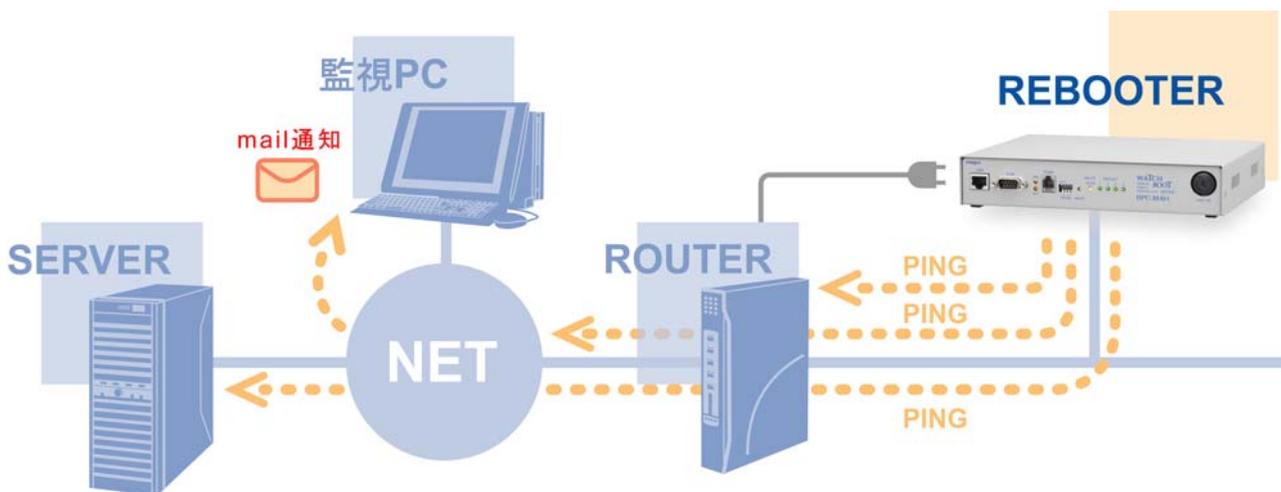
システム復旧

数分で復
旧！



リブーターによる復旧の流れ

- PINGによる死活監視でフリーズを検出
- フリーズした装置の電源リブート(OFF/ON)
- ネットワークの復旧とE-mailによる通知



リブーターによる4つのメリット



- **1.クレーム回避**
 - ユーザーより先に障害を発見し対応できます。
- **2.障害時間の短縮**
 - 障害発生後、最短で障害を復旧できます。
- **3.保守員の負担軽減**
 - 障害対応による夜間休日出勤を回避できます。
- **4.システム費用の削減**
 - 安価なルーターでも安定したシステムができます。

ルーターはなぜフリーズするのか



- その1. 雷による誘導サージ

- 雷による強いノイズの影響で、フリーズすることがあります。

- その2. 想定外の利用

- 変化を続けるネットサービスの中には、設計当時は想定外であった利用方法も時に出現します。

- その3. ネットワーク側の問題

- 回線のメンテナンス工事によりネットワーク障害が発生した場合もルーターの再起動が必要になります。

リブーターの紹介

WATCH BOOT light(RPC-M5C)



- PINGによる死活監視機能
 - アウトレット毎に4個のアドレスを監視
- 個別電源制御機能
 - 4アウトレットを個別に制御。順次起動も可能。
- E-Mail送信機能
 - イベント情報を最大8箇所にメール送

リブーターの紹介

WATCH BOOT nino (RPC-M2C)



- PINGによる死活監視機能
 - アウトレット毎に4個のアドレスを監視
- 個別電源制御機能
 - 2アウトレットを個別に制御。順次起動も可能。
- E-Mail送信機能
 - イベント情報を最大8箇所にメール送信